

令和4年3月31日
公益財団法人翁久允財団

令和3年度事業報告

I. 研究者・芸術家の援助その他(推薦)

1. 令和3年6月21日 第33回翁久允賞受賞の伊勢功治氏著『北方の詩人 高島高』に関する松岡等氏の書評が「北陸中日新聞」第8面に掲載。
2. 令和3年6月28日 『北方の詩人 高島高』のに関する小山紀子氏の書評が「北日本新聞」第11面に掲載。
3. 令和3年7月1日から8月30日まで当財団ホームページにて第34回翁久允賞の推薦を募った。
4. 令和3年7月8日から10月5日まで 富山市立図書館5Fの特別コレクション室前で〈翁久允と高島高〉展が開催され。伊勢功治氏著『北方の詩人 高島高』などに詳しく描かれた翁久允と高島高の交流を翁久允文庫に所蔵されている資料を使って展示された。
5. 令和3年12月5日 〈高島高シンポジウム〉を TOYAMA キラリ2階ロビーで富山市立図書館との共催で開催。令和2年度は、新型コロナ感染リスクを回避するために、第33回翁久允賞に関わるイベント開催を延期したため本シンポジウムの開催となった。
定員50名であり、満席となった。シンポジウムの前に、次の発表があった。
須田満:「高島高と翁久允」、池田瑛子(富山県詩人協会顧問):「詩の光を呼ぶ」、細川喜久恵(歌人):「文学の原点」、金山克哉:富山文学の会):「久遠の自像」／「人生記銘」、伊勢功治:東京時代の高島高。
本シンポジウムに関する記事は、北日本新聞「詩人高島高 語り継ぐ」(12月6日第26面)および「富山県人」(平成4年1月号)に掲載された。
6. 令和3年12月15日 電話会議方式で、翁久允賞選定委員会を開催し、第34回同賞を大村歌子氏(富山市在住)への贈賞を決定。
推薦者:牧野弥一 太田久夫。

贈賞理由:大村歌子氏は生地水橋をこよなく愛し、郷土研究に励んで、多数の論考を発表している。特に童話作家・大井冷光や、旧制富山高等学校設立に寄与した馬場はるについては、精緻に研究を行った。

7. 令和4年2月23日 富山市立図書館 3階セミナールームにて翁久允賞贈賞式および大村歌子氏の記念講演「解読を楽しむ」が同会場で開催。入場者は40名で満席。本イベントに関しては、2月11日付「北日本新聞」、「富山新聞」に予告通知が掲載され、2月24日の「富山新聞」および「富山県人」3月号に報じられた。
8. 令和年度の本事業区分の支出: 598,636 円

II. 奨学金の貸与ならびに給付(翁賞)

1. 令和4年3月初旬 富山県高等学校長協会の定めた翁賞選考要領により富山県内高等学校の卒業生14校15名に賞状および以下の景品を贈った。

SEIKO製卓上時計

稗田董平著『筆魂・翁久允の生涯』

『高志人』翁久允追悼号

2. 令和3年度の該当校は次の通り。

富山県立泊高等学校

富山県立入善高等学校

富山県立中央農業高等学校

富山県立富山高等学校(2名)

富山県立富山工業高等学校

富山県立富山商業高等学校

富山県立高岡工芸高等学校

富山県立高岡商業高等学校

富山県立氷見高等学校

富山県立小矢部園芸高等学校

富山県立となみ野高等学校

高朋高等学校

富山高岡龍谷高等学校

高岡広陵高等学校

3. 令和2年度の本事業区分の支出: 185,785円

III. 翁久允の偉業を構成に伝える事業

1. 令和3年6月18日から12月中旬まで

高志の国文学館常設展示室内特別コレクション室にて〈翁久允と没後50年川崎順二・小谷契月〉展が開催。翁久允と、八尾「おわら風の盆」の発展に尽くし令和3年に没後50年を迎える川崎順二(1898～1971)、小谷契月(1902～1971)との交友を伝える資料を紹介。

なお、本展示に関する紹介記事が、令和3年9月20日の「北日本新聞」第22面に掲載された。

2. 令和3年10月16日 当財団事務所で、水野真理子富山大学准教授、八木光昭理事、須田満理事で、翁久允渡米初期の手書き日記の翻刻の状況を打ち合わせる。
3. 令和3年11月6日 富山市八尾コミュニティーセンターで、静岡県立大学教授・細川光洋氏の講演会〈小谷契月・川崎順二を語る〉が開催。前半は、細川氏の基調講演で、後半は小谷契月の息子・小谷剣司氏、孫・小谷三佳氏、小松朗氏を交えた座談会。
4. 令和3年12月27日 財団事務所で、陳力衛成城大学教授、閻小妹信州大学特任教授、水野真理子富山大学准教授、須田満が、渡米前の翁久允および久允兄・翁玄旨に関する資料の打合せ。
5. 令和4年3月24日 一般社団法人富山県芸術文化協会「とやま文学」第40号〈特集 エッセイで愉しむ とやま〉に翁久允「追憶(抄)」と川路柳虹「富山と八尾」(「高志人」4巻6号)が掲載。
6. 令和4年3月25日 須田満:コラム「萑苜からレタスへ 一在米日系人が果たした役割」が『移民の衣食住 I 海を渡って何を食べるか』(文理閣2022)に掲載。
7. 令和元年度の本事業区分の支出: 1,041,774円

以上

令和3年度 定時評議員会・理事会決議・報告事項

I. 評議員会決議

1. 令和2年度 定時評議員会(決議の省略による)

1) 開催日:令和3年6月20日

2) 決議事項

第1号議案 議事録の作成者の選出の件

第2号議案 令和2年度計算書類等の承認の件

第3号議案 評議員選任の件

(重任)逸見久美、西藤久三、小西謙造、寺西康雄、潟口宗之

(新任)米原寛
第4号議案 幹事選任の件

II. 理事会決議

1. 令和2年度第1回理事会(決議の省略による)

1) 開催日: 令和3年6月8日

2) 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

第1号議案 令和2年度事業報告、事業報告の附属明細書の承認の件

第2号議案 令和2年貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表、
正味財産増減計算書の附属明細書、財産目録承認の件

第3号議案 令和3年度定期評議委員会を決議の省略の方式により
行なう件

2. 令和3年度第2回理事会

1) 日時: 令和3年3月29日 17時00分より

2) 場所: 公益財団法人翁久允財団事務所

3) 決議事項

第1号議案 令和4年度事業計画書及び収支予算書等の承認の件

第2号議案 令和4年度定時評議委員会の日時及び場所並びに目的で
ある事項等』の決定の件

・代表理事による業務執行に関する報告事項

以上